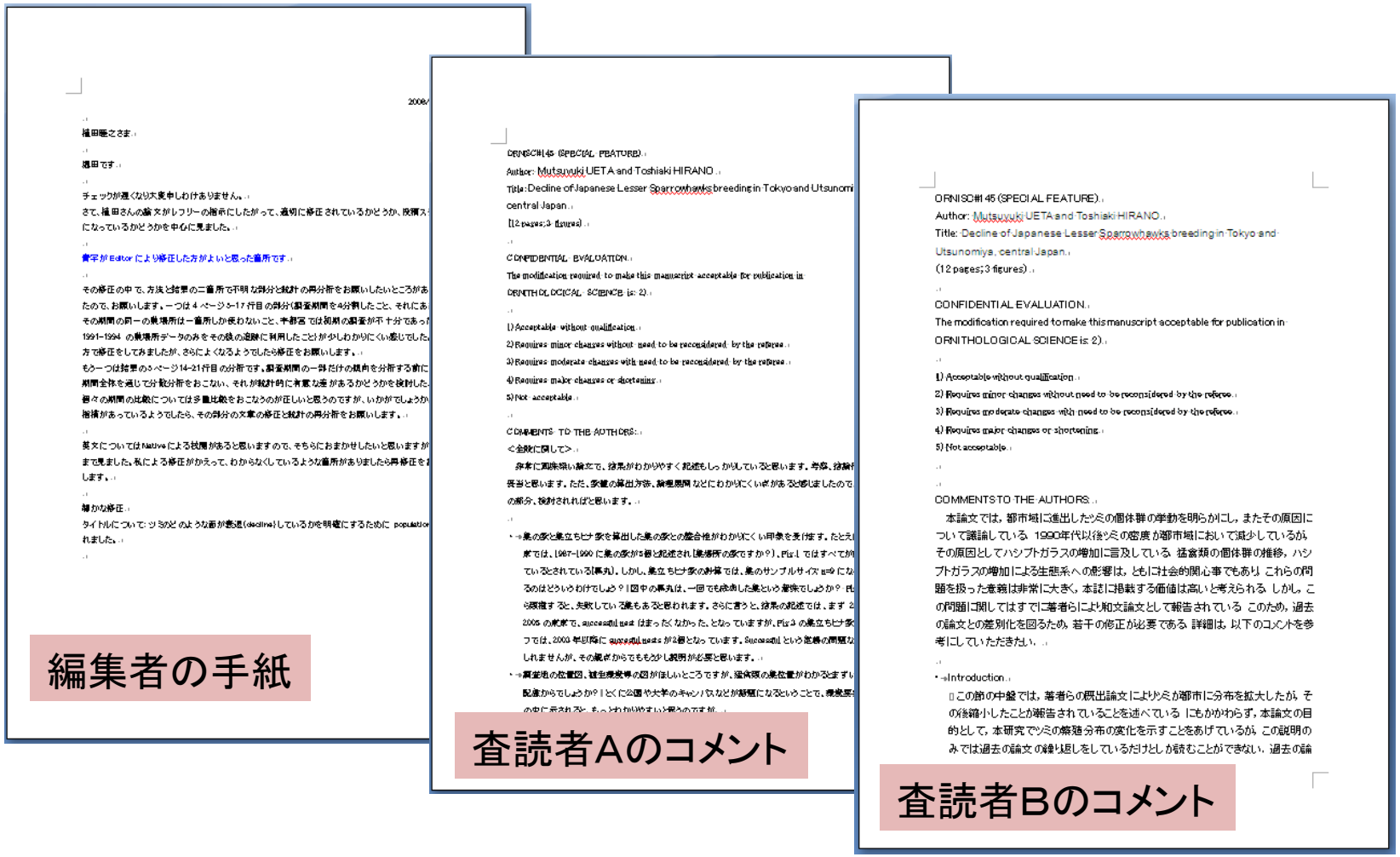
査読対応の実際、心構え

バードリサーチ
植田睦之

投稿論文が戻ってくると



たいてい，編集者と査読者2名のコメントと送った原稿が帰ってくる

論文のその後の行方

- マイナーチェンジの場合

  査読対応をすると掲載される

- 大きな変更の場合

  査読対応の後に編集者が判断し，掲載されるかどうかが決まる。再度査読を受ける場合も多い。

- 却下の場合

  コメントを参考に修正して，再投稿
  → ちょっと悲しくなるけど，誰かに論文を見てもらったと思えば良し

なぜコメントは頭にくるのか

- 否定的な意見ばかり（少しは褒めてくれ）
- 上から目線（何様だ）
- 書いてあるのに・・・（ちゃんと読め）

でも，査読者は「いい人」なのです。
ちょっと頭を冷やしてから前向きに考えてみましょう。

査読対応の前に頭に置きたいこと

- 他人の欠点は見えても自分の欠点は見えないもの

  査読者の意見はたいていあっている

- 論文はだれでもサッと理解できるものを目指さなくてはならない

  査読者の誤解も，わかりやすい論文にするための貴重な意見

- いい人は得をする

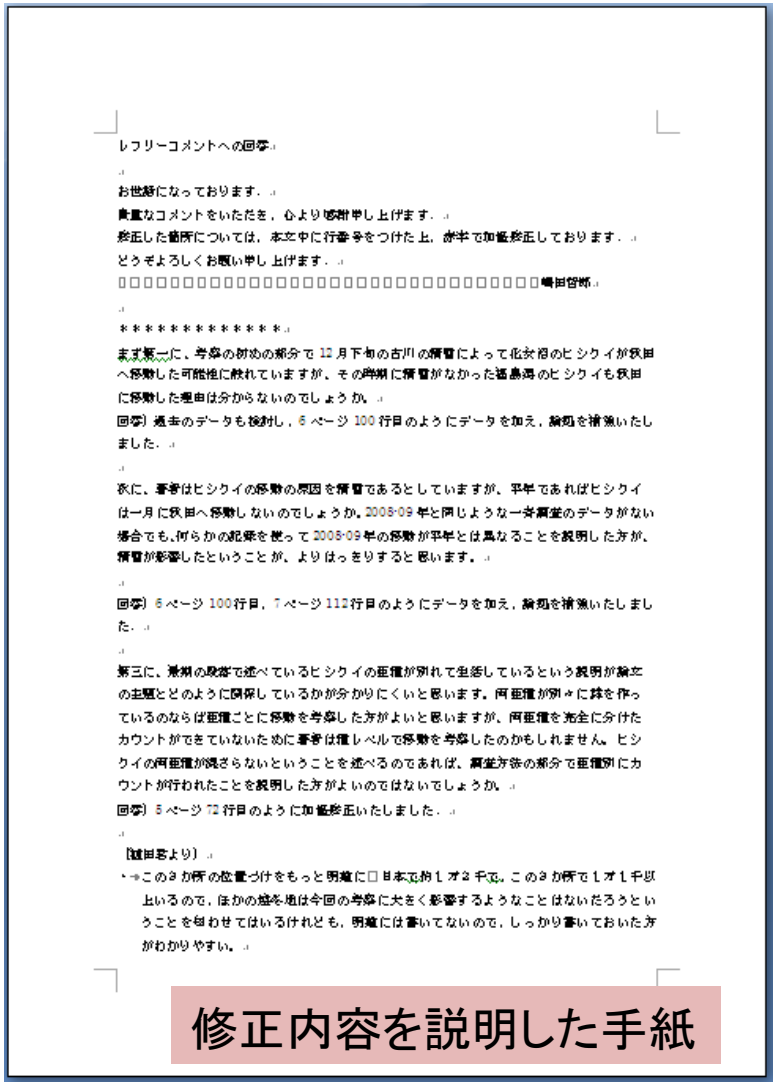
  編集者も人の子，いい人の論文は掲載してあげたくなるもの

ある論文に届いたコメント

COMMENTS TO THE AUTHORS:
＜全般に関して＞
本論文では，都市域に進出したツミの個体群の挙動を明らかにし，またその原因について議論している．１９９０年代以後ツミの密度が都市域において減少しているが，その原因としてハシブトガラスの増加に言及している．猛禽類の個体群の推移，ハシブトガラスの増加による生態系への影響は，ともに社会的関心事でもあり，これらの問題を扱った意義は非常に大きく，掲載する価値はある．しかし，方法等にわかりにくい点が多く見受けられた。詳細は，以下のコメントを参考にして修正いただきたい.

①巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整合性がわかりにくい。たとえば、東京では、1987-1990に巣の数が５個と記述され、Fig.1ではすべてが成功とされている（黒丸）。しかし、巣立ちヒナ数の計算では、巣のサンプルサイズはn=9となっており失敗している巣もあると思われる。
②調査地の位置図があるともっとわかりやすい。
③本研究では，４年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが，その記録方法について充分に記載されていない．例えば同一つがいが別の年に同じ場所に営巣した場合は一ヶ所として記録したのかどうかを明記する必要がある.
④カラス以外の原因で巣の落下が挙げられていますが、その要因となっているものは何か考えられないのでしょうか？　巣のかけにくい樹木に広げていった結果が出ていると言うことでしょうか？　アカマツに比してＤＢＨの小さな樹木にも巣をかけるようになったとか、もしくは巣の落下した樹種、ＤＢＨに特徴があるとか、その辺の考察がもう少しあればおもしろい。

修正原稿返送の際に必要なもの



レフリーコメントへの回答

お世話になっております．

貴重なコメントをいただき，心より感謝申し上げます．

修正した箇所については，本文中に行番号をつけた上，赤字で加筆修正しております．

どうぞよろしくお願い申し上げます．

□□□

修正内容の説明の例

編集者および査読者の皆様

貴重なコメントをいただき，ありがとうございました。
おかげさまで，よりわかりやすい論文にすることができたと思います。
以下にコメントへの対応を明記します。本文の修正点につきましては，赤字で示してあります。

丁寧に書くと感じが良い

レフェリーA　コメント①
巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整合性がわかりにくい

3ページの方法の6行目，および6ページの結果の2節目に書いてあったのですが，分かれていたためにわかりにくかったと思います。そこで，方法の部分（3ページ6行目以降）に
巣間距離が500m以内のものは，同一の営巣地として扱ったこと，調査期間に1度でも繁殖に成功した営巣地を繁殖に成功した営巣地としたこと，繁殖成績については営巣地数ではなく総巣数で計算していることを明記しました。
本文中に赤字で示しているのでご確認ください

レフェリーA　コメント①

巣の数と巣立ちヒナ数を算出した巣の数との整合性がわかりにくい

3ページの方法の6行目，および6ページの結果の2節目に書いてあったのですが，分かれていたためにわかりにくかったと思います。そこで，方法の部分（3ペ
巣間
て扱
営巣
績に
ること
本文

修正文が短ければ，要点ではなく，実際の修正文案を示しても良い。

「指摘を参考にして、改訂しました」など何をしたかわからない返答は望ましくない

レフェリーA　コメント②

調査地の位置図があるともっとわかりやすい

この点については，以下の理由で加えませんでした。たしかに位置があると，イメージがしやすいと思います。ただし，位置図と図1の巣の分布図をあわせると，実際の巣の位置がわかってしまいます。営巣地は現在でも繁殖に利用されている場所であり，場所がわかるとカメラマンが撮影に来たりして，ツミの繁殖に悪影響がでる恐れがあります。それを考えると，東京の中西部であることおよび図1で論文を理解する上で十分な情報は提供できていえると思いますので，位置図は加えませんでした。

レフェリーA　コメント②

調査地の位置図があるともっとわかりやすい

この点については，以下の理由で加えませんでした。たしかに位置があると，イメージがしやすいと思います。ただし，位置図と図1の巣の分布図をあわせると，実際の巣の位置がわかってしまいます。営巣地は現在でも繁殖に利用されている場所であり，場所がわかるとカメラマンが撮影に来たりして，ツミの繁殖に悪影響がでる恐れがあります。それを考えると東京
る上
で，位

全てに従わなくてはならないわけではない
従わない場合は，理由を明確に示す

レフェリーA　コメント③

４年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが，その記録方法について充分に記載されていない

コメント①と同様の理由でわかりにくかったと思います。したがいまして，コメント①について修正したことでわかりやすくなったと思いますのでご確認ください。

レフェリーA　コメント③

４年ごとの繁殖場所をまとめてあつかっているが，
その記録方法について充分に記載されていない

コメント①と同様の理由でわかりにくかったと思います。
したがいまして，コメント①について修正したことでわ
かりや

類似のコメントについてはコメント①および③としてあわせて返答したり，このように理由を付して省略しても良い。
ただし，レフェリーAのコメント対応に
レフェリーBのコメント対応を混ぜるのはわかりにくくなるので，やめる

注意点

- コメントには，修正したもの，しないもの含め全てに答えましょう
- 「修正しました」ではなく，何を修正したかわかるように書きましょう
- 納得いかないものには従う必要ありません。ただし，頭を冷やして，謙虚な心で従うべきか抗うべきかもう一度考えましょう

修正で困ること

- 査読者のコメントの真意がわからない

  まわりの人に相談してみる･･･しかないですね。
  どうしてもわからなければ編集者に相談してみましょう

- 査読者AとBが言っている正反対

  考察の部分でもっと話を膨らませるべきか，削るべきかという部分でのことが多い

  より厳しめの方（削る方向）を優先にまず検討してみる

修正が終わったら

- 査読者のコメントと対応の手紙を身近な人に見てもらう

  独りよがりになっていないか確認

- 再投稿

査読は論文をより良くするための作業です

ありがたく，コメントを受けとって修正すれば
良い論文になる筈。

恐れずに，まずは投稿してみましょう